

EVによる脱炭素社会への貢献、車両の「安全・安心」を支える  
**(株)関電L&A 大阪自動車整備工場**  
見学のご案内

2024年**5月22日**(水) 15:00~17:00

賛助会員  
**参加無料**  
非会員  
2,000円/人

見学先

**(株)関電L&A 大阪自動車整備工場**  
大阪市西淀川区歌島2丁目4-7  
(JR神戸線塚本駅またはJR東西線幣島駅から徒歩10分)  
<http://www.kla.co.jp/car/index.html>

スケジュール

**14:50 正門前集合**  
15:00~15:30 概要説明  
15:30~16:30 施設見学  
16:30~17:00 意見交換・名刺交換



定員

**10名** (定員になり次第締め切らせていただきます)

申込方法

**5月15日(水)までにメールにてお申込みください(下記を記入)**

- ①賛助会員／非会員 ②機関名 ③所属・役職 ④氏名(フリガナ)  
⑤メールアドレス ⑥TEL ⑦本見学会でご興味のあるテーマ(複数選択可)  
A.EVの電池劣化診断 B.EVの利用推進・EV車両のメンテナンス  
C.特殊車両の点検・整備 D.その他(メールにお書き下さい)

**kikaku-event@ostec.or.jp**

※賛助会員は右のURLをご確認下さい <http://www.ostec.or.jp/pln.html#list>

自動車整備の現場である整備工場は、自動車の状態を電子機器で診断するなど高度化が進み、先進的な整備環境へと変化しています。また、わが国が2050年カーボンニュートラルを実現させるためには電気自動車(EV)の普及拡大が不可欠です。地域脱炭素ロードマップにおける重点対策の一つとして「ゼロカーボン・ドライブ」が取り上げられ、省エネ電力の拡大やEVの普及によって、車での移動を脱炭素化させる取り組みが進められており、自動車整備の現場においてもEVへの対応が求められるようになっていきます。

EVの電池は充放電を繰り返すことにより劣化していきませんが、その劣化状況は充電方法や運転履歴等によって様々です。EVの導入が拡大する中、電池の劣化状態を定量的に把握することが課題となっています。関電L&Aでは、EVの推進活動として、EV乗用車やEVバスのリース、EV車両のメンテナンスを行うとともに、EVの電池劣化評価の実証事業へ参画し、EV充電装置を設置して、電池の劣化診断技術を向上させるためのデータの取得を行っています。

こうしたEV推進に向けた取り組みについてご紹介いたしますので、この機会にぜひご参加ください。余寿命の推定精度が向上すると、最適なメンテナンス計画の策定や蓄電池の二次利用による環境への貢献も期待できます。

